

事後評価に対する意見

滋賀県公共事業評価監視委員会

番号	計画名	琵琶湖と人々の暮らしを支える森林整備計画（その2）	事業主体 施工箇所	滋賀県 大津市 他
<p>(意見)</p> <p>○事業の進捗状況について</p> <p>治山事業については計画事業費 2,275 百万円に対して 1,677 百万円、漁場保全の森づくり事業については計画事業費 174 百万円に対して 44 百万円、森林整備事業については計画事業費 993 百万円に対して 658 百万円を実施したことを確認した。</p> <p>本計画期間中に実施されなかった箇所および事業については、次期計画において引き続き取り組んでいく必要がある。</p> <p>○事業効果の発現状況について</p> <p>① 災害に強い森林づくり（保安施設事業（治山事業等））</p> <p>森林の荒廃状況に応じて、計画的に保安施設整備を実施したことにより、実施個所における林地保全が図られた。</p> <p>② 森林施業と木材利用の推進（森林整備事業（林道事業等））</p> <p>林道開設・林道改良及び林道橋等の点検診断・保全整備を実施することにより、森林整備の基盤づくりが進んだ。</p> <p>○評価指標の目標値の実現状況</p> <p>① 災害に強い森林づくり</p> <p>「保安林内の保安施設整備割合」</p> <p>現地の荒廃状況に応じて各年度に事業計画を立て、この交付金事業で治山事業全体の 24% の役割を担ったことにより、目標値 61% を達成したことを確認した。</p> <p>② 森林施業と木材利用の推進</p> <p>「県産材の素材生産量」</p> <p>目標値 110,000m³ に対し、令和元年度末で 95,000m³ の見込みであることを確認した。素材生産量は概ね右肩上がりで推移してきている。また、森林整備の基盤づくりが進んだことを確認した。</p>				